

2月17、18日

1、2年生3学期末テスト



一足先に終えた3年生に続き、17日18日の両日に1、2年生が3学期末テストを受けました。初日は理科、技術家庭科、社会、音楽・体育の4時間5教科、二日目は英語、数学、国語の3教科のテストが実施されました。

今年度の最後の大きなテストということで、生徒たちは1年を締め括ろうと取り組み期間もひたむきに学習に取り組みました。質問タイムを積極的に活用した

り、いつもより多くの学習用具を持ち帰って家庭学習に取り組んだりする姿がありました。中には、土日の連休に学習するからと言って、置いていったワーク類を下校後に取りに来る生徒もいました。



この時期には、職員室のカウンターの上にワークやノートがうずたかく積まれている光景も目立ちます。生徒たちの努力の跡を、テストの点だけではなく学習の跡で評価するために教師が回収し点検するのです。



テストをきっかけにして学習を進めるのも大切ですが、これから目指すのは、テスト前の努力だけではなく、日常的に努力を積み重ねてテストを迎えるようにすることです。ワークやノート等も提出のために取り組む生徒もまだまだ多いようです。日常的にコツコツと取り組み、その成果を提出するだけにしておけば、この時期に慌てなくても済みますし、時間的な余裕も生まれ

学習の定着度も高まります。

「授業→SPT→通学カバンの軽量化（持ち帰る物の選択）→家庭学習→質問タイム→授業」といった「主体的学習サイクル」が確立すれば、提出物やテストにも余裕が生まれてくることでしょう。それを期待しているよ。がんばれ、北中生！